

令和元年度 決算報告

令和元年度決算が、令和2年9月定例町議会で承認されました。

決算は、私たちが納めた税金が、まちづくりや暮らしのなかで、どのように活かされてきたのかをまとめたものです。令和元年度はどのようなことに町のお金を使ったのかを報告します。

問合せ▶企画財政課財政係☎295-2112㊦324

一般会計

一般会計歳入（入ったお金）

103億962万7千円

(単位/千円)

項目		元年度決算	前年度増減額	
自主財源	町税	35億6,296万5	2,049万5	
	繰越金	3億7,410万0	2,245万0	
	繰入金	6億3,936万1	1億1,825万7	
	その他	分担金及び負担金	7,744万5	△1,902万9
		使用料及び手数料	5,775万0	△500万1
		財産収入	973万0	△27万9
		寄附金	2億1,369万1	2億 501万5
諸収入	1億7,573万0	6,542万3		
依存財源	地方交付税	21億1,305万3	6,495万3	
	国庫支出金	10億 873万8	1億6,067万2	
	町債	4億8,574万7	△1億 846万2	
	その他	県支出金	7億1,279万8	1,023万0
		地方消費税交付金	6億 641万1	△2,354万0
		地方譲与税	9,870万2	209万4
		地方特例交付金	5,211万0	3,413万9
		自動車取得税交付金	2,183万8	△1,926万1
		環境性能割交付金	660万9	660万9
		ゴルフ場利用税交付金	5,201万7	226万9
		利子割交付金	296万3	△288万0
		株式等譲渡所得割交付金	1,154万5	△319万8
		配当割交付金	1,920万8	306万4
		国有提供施設等所在市町村助成交付金	297万0	6万9
交通安全対策特別交付金		414万6	△16万6	
合計		103億 962万7	5億3,392万3	

一般会計歳出（使ったお金）

98億248万2千円

(単位/千円)

項目		元年度決算	前年度増減額	
自主財源	民生費	37億3,154万7	2億 549万4	
	総務費	12億5,751万6	8,108万2	
	公債費	9億8,247万8	2億4,333万7	
	教育費	8億2,972万3	△1億9,108万6	
	衛生費	7億4,489万2	△584万0	
	土木費	7億 87万2	△2億3,039万2	
	消防費	6億1,860万5	240万4	
	農林水産業費	1億5,693万1	△5,175万8	
	その他	議会費	1億 912万9	△21万2
		商工費	1億2,145万0	6,482万7
		労働費	3,003万2	0
		災害復旧費	581万3	581万3
		諸支出金	5億1,349万4	2億7,720万9
	合計	98億 248万2	4億 87万8	



特別会計

町の会計は、「一般会計」と「特別会計」に分けられています。

一般会計は、特別会計に属さない財政を包括的、一般的に経理する会計。特別会計は、特別な財源を特定の支出に充てて経理を行うものです。毛呂山町の特別会計には国民健康保険・農業集落排水事業・介護保険・後期高齢者医療と、企業会計である水道事業会計があります。

令和元年度

特別会計歳出入・企業会計収支

(単位/千円)

区分	歳入(収入)	歳出(支出)	差引額	
国民健康保険	43億4,607万3	42億2,119万2	1億2,488万1	
農業集落排水事業	3,657万7	3,154万4	503万3	
介護保険	23億9,424万3	23億 631万7	8,792万6	
後期高齢者医療	4億3,052万2	4億2,236万3	815万9	
水道事業	収益的収支	7億6,558万9	7億4,829万2	1,729万7
	資本的収支	1億5,455万8	3億9,777万1	△2億4,321万3

令和元年度の 主な事業

住民と行政の協働によるまちづくり

住民が正確な情報を共有し、隣近所で活発な住民活動が展開でき、さらに男女共同参画や住民の交流活動を促進し、簡素で効率的な行政運営や広域的なまちづくりを推進しました。

コミュニティ協議会補助金	181万円
広報等印刷事業	556万7千円
区運営費補助金	439万円

健康で安心して暮らせるまちづくり

地域における支え合いを基盤として、一人ひとりに対応できるきめ細やかな健康づくり活動や、少子高齢社会などに対応する福祉活動を支援しました。

こども医療費	7,940万6千円
児童手当	4億 897万5千円
介護給付費・訓練等給付費	5億2,409万9千円

自然と共生した安全で快適なまちづくり

美しい景観づくりや水辺環境の創造を進め、また、防災対策の充実をはじめとし、防犯活動や交通安全などを住民と協働して推進し、環境に配慮した快適な生活の実現を支援しました。

埼玉西部環境保全組合負担金	3億9,072万5千円
橋梁長寿命化修繕工事	1,669万3千円
毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合負担金	3億8,527万1千円

元気に仕事ができるまちづくり

住民が元気に仕事ができるまちづくりのために、農林業、観光、商工業の振興支援を実施しました。

農道用排水路等整備事業	926万7千円
観光事業	1,926万7千円
商工会補助金	754万円

学びを未来に活かすまちづくり

生涯学習の支援や、一人ひとりに応じた教育の充実を図るため、家庭、地域、幼稚園、保育園、小学校、中学校間の連携と、本町ならではの特色ある教育を推進しました。

川角小学校内学童保育所整備工事	2,852万5千円
川角小学校受水槽揚水ポンプ交換工事	296万円
総合公園体育館屋上防水工事	858万円

町民1人あたりに使われたお金は、29万3,972円でした

※一般会計より。令和2年3月31日現在の人口3万3,345人で計算

健全化判断比率

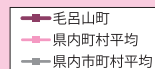
平成19年度決算から財政健全化法に基づき「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの指標の公表が義務づけられました。毛呂山町の健全化判断比率は、いずれの指標も早期健全化基準を下回り、数値的にも健全性を示しています。

令和元年度健全化判断比率

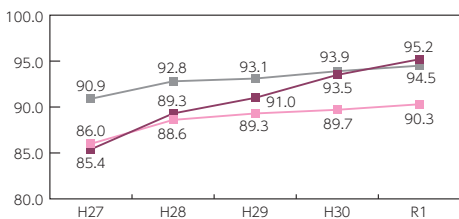
(単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
毛呂山町	—	—	7.8	47.4
早期健全化基準	14.18	19.18	25.0	350.0

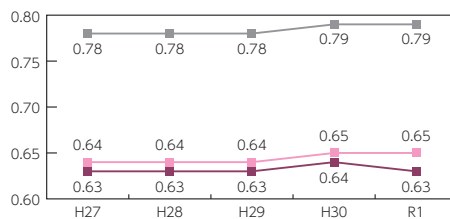
※実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字の場合は算定しません。



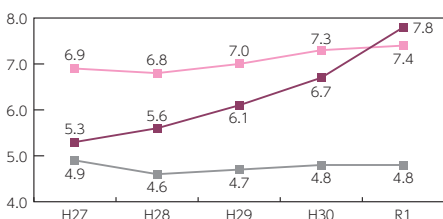
経常収支比率の推移



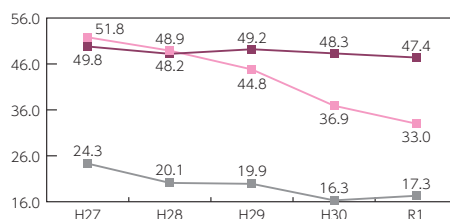
財政力指数の推移



実質公債費比率の推移



将来負担比率の推移



用語解説

実質赤字比率 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。

連結実質赤字比率 全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。

経常収支比率 財政構造の弾力性を測定する比率。この比率は、経常一般財源（毎年度経常的に収入される財源）のうち、義務的性格の経常経費（人件費や扶助費のように毎年度経常的に支出される経費）に充当されたものが占める割合。80%を超えると弾力性を失いつつあると考えられている。

財政力指数 地方公共団体の財政力を示す指数。財政力指数が単年度で1を超える場合には、自立して財政運営ができることを示し、普通交付税の不交付団体となる。財政力指数が1に近いほど、自主財源の割合が高いことを示し、財源に余裕があることになる。

実質公債費比率 町の借入金返済額（元金や利子）などの財政負担の大きさを表す比率。

将来負担比率 借入金の残金など、町が将来支払わなければならない負担の大きさを表す比率。